

サプリメントの新たな潮流!?

INFORMED-CHOICE **INFORMED-SPORT**

2020年東京オリンピックまで500日を切り、スポーツへの関心は益々高まっております。

世界中のトップアスリートが東京に集い、肉体の限界に挑戦した戦いは、多くの感動を与え、そこにスポーツの価値を見いだすことができるのではないのでしょうか。

しかし、その陰には勝利至上主義に溺れ不正をしてまでもメダル獲得を是とするアスリートが後を絶ちません。

WADA(世界アンチ・ドーピング機構)の資料によると、2016年のドーピング検査数は約30万件。うち違反は4800件発見され、イタリアが147件で世界1位の違反者件数でした。同年の日本は5名。違反者の極めて少ない国であることがわかります。しかし、ゼロではありません。

その原因の多くは“うっかりドーピング”と言われており、サプリメントによる違反例が少なくありません。サプリメントは食品であり、表示成分以外の物質が混入した商品が流通してしまい違反を犯してしまう悲劇が後を絶ちません。

では、どうすれば違反根絶が果たせるのでしょうか?

答えは簡単です。サプリメントを使用しないことです。しかし、スポーツサプリメント市場は2017年度の調査¹⁾では470億円市場と言われるほどの消費を誇り、プロテイン、アミノ酸含有製品が市場全体の9割を占めており、パフォーマンスの維持向上のための製品が販売されております。

アスリートの必須アイテムの感がありますね。

では、アスリートにとって安全なサプリメントはあるのでしょうか?

3月末現在、安全性を保証している商品はJADA(日本アンチ・ドーピング機構)が認証している商品のみになり、大塚製薬、味の素、明治、Real Styleの4社の認証製品となっています。

しかし、アスリートの要望に応えるには選択肢は決して多いとは言えない状況にもあります。

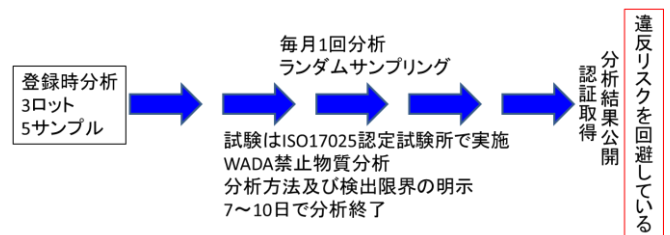
近年は、新たな安全性を保証する商品としてINFORMED-CHOICEやINFORMED-SPORTによる認証製品が登場してきました。

【INFORMED-CHOICE & SPORT】とは

英国LGC社が認証する、国際的に知られた非常に透明性の高いアンチ・ドーピングプログラムの名称です。

このプログラムは、製品、原材料およびサプリメント・食品の製造施設に対して、WADAの禁止物質リストにある物質によって汚染されるリスクを最小にし、製品、原材料および製造施設に対する厳密なガイドラインを満たしていること、同時に製造された製品に対する継続的な分析試験に基づいて製品が汚染されていないことを示すための認証制度です²⁾。国内では27社の製品、世界では200以上のブランドが認証を受けております。

【認証までの流れ】



【認証マーク】



しかし、豪州のサプリメント調査では63件の分析をした結果、10件から禁止物質が検出され、うち6件からは複数の禁止物質が検出されたとの報告もあります。認証商品でないことを願いたいものです。

WADAは、

「サプリメントはスポーツにとってリスクとなり得る！」

と警告しております。

INFORMED-CHOICEなどは今後サプリメントを購入する場合、選択肢のひとつになるかもしれませんが、あくまでも自己責任であることは変わりありません。サプリメント購入はくれぐれも注意してください。

スポーツフェーマシスト 川村 仁
(青森大学薬学部)

1) https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/1925

2) <http://www.biohealth.com/anti-doping.html>